経営比較分析表 (令和元年度決算)

福井県 越前町

160.00

140 00

120.00

100 00

60.00

40.00

20.00

0 00

当該値

平均值 86, 48

48.50

135.43

86, 34

INALAK WEBA-A				
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	48. 62	67. 55	2, 860

人口 (人)	面積 (km²)	人口密度(人/km²)
21, 322	153. 15	139. 22
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km²)	処理区域内人口密度(人/km²)

900.00

800.00

700.00

600.00

500.00

400.00

300.00

200.00

100.00

当該値 34. 40

平均値

593.23

グラフ凡例

■ 当該団体値(当該値)

類似団体平均値(平均値)

【】 令和元年度全国平均

分析欄

[682.51]

R01

232. 35

807. 75

251.28

692.13

経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率が100%未満であるのは、地方 債元利償還金の財源の大半を一般会計繰入金に依存 していることが要因である。施設の整備はほぼ終了 しており、水洗化率も96%に達している中で、自主 財源を確保するためには、料金改定が必要になる。

④企業債残高対事業規模比率が類似団体平均値よ り低いのは、施設の整備がほぼ終了しているためで あるが、今後は施設の老朽化に伴う更新等により、 値が上がることが予測される。

⑤経費回収率は約100%となったが、これからも健 全化を目指す必要がある。また、平成26年度に水道 料金と併せて料金改定を実施しており、今後は、県 内自治体水準と比較しながら、更なる検討が必要に

⑦施設利用率は、類似団体平均値より高い値で推

⑥汚水処理原価が平均値より低いのは、上記対策 と連動して、改善していると推測される。

移しているが、今後は、利用率や人口減少を鑑み て、隣接している農業集落排水処理区域の統廃合事 業に取り組んでいく必要がある。

⑧水洗化率については、100%を目指し、更なる 接続の推進に努めていく必要がある。

1. 経営の健全性・効率性

[136, 15]

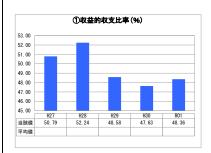
154, 12

179, 63

H30

154, 85

177, 15 175, 05



⑤経費回収率(%)

H29

100.00

86.85

H30

99.07

88. 98

[100, 34]

100, 68

350.00

300.00

250.00

200.00

150.00

100 00

50.00

0 00

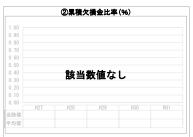
当該値

平均値 174, 38

313.95

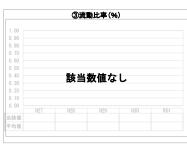
112.57

175, 12



⑥汚水処理原価(円)

153.01







④企業債務高対事業規模比率(%)

259.32

798.84

H28

170.94

671.97

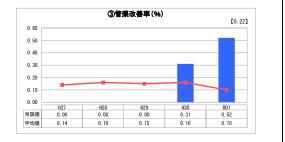
老朽化の状況について

現在、終末処理場は2箇所あり、供用開始以来、 古い施設で34年を経過している。管路施設は、耐用 年数50年を目途にストックマネジメント計画を策定 し、順次更新を実施していく必要がある。一方、処 理施設については、機械設備等の耐用年数の大半が 15年~20年であることから、朝日浄化センターにつ いては、長寿命化計画に基づき、平成23年から5ヶ 年の計画で機器等の更新を実施した。今後は、ス トックマネジメント計画により、5ヶ年毎に計画的 に更新できていない機器等の更新及び織田浄化セン ターの施設の更新を実施していく必要がある。

2. 老朽化の状況







全体総括

施設の整備はほぼ終了しており、施設の維持管理 の時期にきている。町村合併してから15年以上が経 過した今日、施設の老朽化や人口減少を踏まえ、自 主財源の確保はもとより、効率よい事業運営を考え

今後は、長期的視野に基づき、計画的に農業集落 排水処理区域の統廃合や料金改定等の施策を実行し ていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。